

地域計画

策定年月日	令和6年9月30日
更新年月日	令和7年3月26日 (1回目)
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	西庄町 (西庄)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	45.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	45.3 ha
② 田の面積	44.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.7 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	23 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.3 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農家の高齢化、後継者不足という課題に対処するため、地域内に農業法人を設立した。しかし、西庄集落の中心経営体である農事組合法人の設立時期が遅かった。したがって、入作を希望されていた他の地区の耕作面積が非常に多いのが西庄集落の特徴である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

西庄地区の転作(麦作)については、他集落の認定農業者の耕作地を除くと、農事組合法人と個人の認定農業者が全てを担っている。今後、水稲作についても転作(麦作)と同様な形態を目指していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
西庄集落の農地利用は、中心経営体である農事組合法人や個人の認定農業者が担う。しかし、入作を希望される認定農業者の受入れも促進する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	77.7	%	将来の目標とする集積率
			92.5 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地バンクを活用し、団地化・集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積、集約を進め、団地面積の拡大を農地バンク(農地中間管理機構)を通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸付、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
当地区の農地には他の地区の耕作者面積が非常に多いため、大区画化、汎用化等は非常に困難である。とりわけ他の地区の耕作者との交流には、市町村及びJAが相談から連携まで切れ目無いサポートが必要です。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
当地域には新興住宅が約半数あり40歳代から50歳代の方が法人の組合員としての参加希望があるため、担い手として育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
野菜定植機等の機械についてはJAグリーン近江に貸付依頼を進めていきたい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②法人の稲作については有機肥料100%で殺虫、殺菌剤(化学合成農薬)を使用しない栽培
 ⑧適宜、老朽化している用水路の補修や農道の補修などを行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				備考
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	
認農		水稻、麦	7.2 ha	4 ha	水稻、麦	11.9 ha	4 ha		
認農		水稻、麦	8.4 ha	ha	水稻、麦	8.4 ha	ha		
認農		水稻	2.3 ha	ha	水稻	0.85 ha	ha		
認農		水稻、麦	7.5 ha	ha	水稻、麦	10.3 ha	ha		
認農		水稻、麦	3.2 ha	ha	水稻、麦	3.2 ha	ha		
認農		水稻、麦	2 ha	ha	水稻、麦	2.2 ha	ha		
利用者		水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha		
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha		
利用者		ハウス	1.2 ha	ha	ハウス	0.9 ha	ha		
認農		ハウス	0.6 ha	ha	ハウス	1.0 ha	ha		
利用者		水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	11経営体		34.2 ha	4 ha		40.55 ha	4 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)